

平成 21 年 3 月 26 日

2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」
第 5 回議事録

開催日時：平成 21 年 2 月 19 日 13:30～16:30

開催場所：建築会館会議室

出席委員：浅野主査、五十田幹事、大熊委員、角陸委員、槌本委員、恒次委員、中島委員、
中村委員、三浦委員、山羽委員、高村（記）（WG 委員を含む）
中島氏、工藤氏、田中氏（オブザーバー）

配布資料：

- 5-1 木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会＋ワーキンググループ 第 5 回 議事
次第（五十田幹事）
- 5-2 2008 年度開始特別研究委員会「木質バイオマス資源の有効利活用特別委員会」第 4
回議事録（高村）
- 5-3 地球温暖化防止行動としての木材利用の促進（大熊委員）
- 5-4 長野県内の各流域における資源循環を前提とした建築用木材生産及び長野県全体
への予測手法の拡張（浅野主査）
- 5-5 県産材を使用した住宅における木材のライフサイクルアセスメント調査
（浅野主査）
- 5-6 第 2 回 マテリアル利用・再生 WG・バイオマスエネルギー利活用 WG 議事録（案）
（恒次委員）
- 5-7 木質材料のカーボン・フット・プリントをめぐる現況（中島氏）

議事：

(1) 前回議事録の確認

資料 5-2 にもとづき前回議事録の確認を行い異議なく了承された。

(2) 木質材料のカーボン・フット・プリントをめぐる現況（中島氏）

中島氏より資料 5-7 にもとづき木質材料のカーボン・フット・プリントをめぐる現況
について説明があった。その後、木質材料の CO₂ 排出量の算出方法について意見交換を
行った。

(3) 地球温暖化防止行動としての木材利用の促進について（大熊委員）

大熊委員より資料 5-3 にもとづき地球温暖化防止行動としての木材利用の促進につい
て説明があった。その後、木材の CO₂ 吸放出について意見交換を行った。

(4) 長野県内の各流域における資源循環を前提とした建築用木材生産及び長野県全体への
予測手法の拡張について（浅野主査）

浅野主査より資料 5-4 にもとづき長野県内の各流域における資源循環を前提とした建

築用木材生産及び長野県全体への予測手法の拡張について説明があった。藍原委員の論文であるため、次回藍原委員に詳細な説明をして頂く。

- (5) 県産材を使用した住宅における木材のライフサイクルアセスメント調査について（浅野主査）

浅野主査より資料5-5にもとづき県産材を使用した住宅における木材のライフサイクルアセスメント調査について説明があった。乾燥時のCO₂排出量や製造時のCO₂排出量について意見交換を行った。

- (6) 建物地域システム検討WGの活動報告（角陸委員）

建物地域システム検討WGの活動報告として角陸委員から環境モデル都市の北海道下川町の調査報告があった。

- (7) マテリアル利用・再生WG・バイオマスエネルギー利活用WGの活動報告（恒次委員）

恒次委員より資料5-6にもとづき第2回マテリアル利用・再生WG・バイオマスエネルギー利活用WG議事録（案）をもとにWGの活動報告があった。

- (8) 委員会活動のホームページへの掲載について

五十田幹事が準備を進めている。資料の公開はせずに議事録程度の公開をすることとした。詳細については五十田幹事に検討して頂く。また、委員会資料の委員間での共有化についても五十田幹事に検討して頂く。

- (9) 今後の進め方について

- ・ スケジュールを含めたWGの最終成果について次回委員会で提示する。
- ・ 他学会とのジョイントについて次回委員会で検討する。
- ・ 常設委員会にすることの判断も含め、今後の進め方について次回委員会で検討する。
- ・ 地球環境委員会で木材利用を検討している小委員会との意見交換会の開催について次回委員会で検討する。
- ・ 上記とともに、2010年の全国大会でパネルディスカッションを企画するなど、本特別委員会の活動をアピールする場について次回委員会で検討する。

- (10) 次回、次々回委員会について

次回：2009年3月26日（木）17:00～

次々回：2009年5月7日（木）。17:00～